

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【公開番号】特開 2018-57789 (P2018-57789A)

【公開日】平成 30 年 4 月 12 日 (2018.4.12)

【年通号数】公開・登録公報 2018-014

【出願番号】特願 2016-230966 (P2016-230966)

【国際特許分類】

A 6 1 J 3/06 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 3/06 Q

B 4 1 J 2/01 1 0 9

B 4 1 J 2/01 3 0 5

B 4 1 J 2/01 4 5 1

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 29 日 (2019.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

錠剤を搬送する搬送ベルトと、

前記搬送ベルト上の前記錠剤を吸引して保持するための吸引チャンバと、

前記搬送ベルト上に錠剤を供給する供給装置と、

前記供給装置の前記錠剤の搬送方向下流側に設けられ、前記錠剤を撮像する撮像装置と

、前記撮像装置によって撮像された前記錠剤に対して印刷を行う印刷装置と、

前記錠剤の搬送方向において前記供給装置よりも下流側であって前記撮像装置よりも上流側に設けられ、前記搬送ベルトに向かって気体を吹き付ける気体吹き付け部と、

前記気体吹き付け部からの気体を吸引する気体吸引部とを有し、

前記気体吸引部は吸気口と排気口とを有し、

前記吸気口は、前記錠剤の搬送方向に沿って設けられる開口であり、前記印刷装置より前記錠剤搬送方向上流側に設けられ、前記排気口は前記吸引チャンバに取り付けられていることを特徴とする錠剤印刷装置。

【請求項 2】

前記気体吹き付け部下方に、前記気体吹き付け部からの気体を前記錠剤の搬送方向下流側に向けて流す誘導板を有することを特徴とする請求項 1 に記載の錠剤印刷装置。

【請求項 3】

少なくとも前記気体吹き付け部、前記撮像装置、前記印刷装置を収容するカバーを有し

、前記気体吹き付け部下方の前記カバーに、前記気体吹き付け部からの気体を前記錠剤の搬送方向下流側に向けて流す誘導板を有することを特徴とする請求項 1 に記載の錠剤印刷装置。

【請求項 4】

前記撮像装置と前記印刷装置との間に設置され、前記気体吹き付け部からの気体を遮断

する遮断板を有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の錠剤印刷装置。

【請求項 5】

前記気体吹き付け部からの気体供給及び前記気体吸引部の吸引を装置運転中常に行なうことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の錠剤印刷装置。

【請求項 6】

前記吸気口の高さ方向の長さを変化させることによって、前記気体吸引部の吸引力を調整することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の錠剤印刷装置。

【請求項 7】

前記吸気口の高さ方向の長さは、前記錠剤の高さよりも短いことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の錠剤印刷装置。